（報道発表資料）

2026 年 11 月 17 日
NTT 株式会社

国際電気通信連合（ITU）の全権委員会議 2026（PP-26）にて 元 NTT 尾上誠蔵氏が電機通信標準化局長に再選

発表のポイント：

- ◆ 国際電気通信連合（ITU）[※1] 全権委員会議 2026（PP-26、ドーハ開催）[※2] の、4 年に一度の選挙において、現職の電気通信標準化局長である元 NTT の尾上誠蔵氏が再選。2 期目として 2027～2030 年も同局長を務めることとなった。
- ◆ NTT は、尾上局長の再選を経て、国際的な対話と協力をさらに促進するとともに、ITU-T をはじめとする国際標準化活動を通じて情報通信技術の国際的な普及・市場拡大に貢献していく。

国際電気通信連合（ITU）の最重要会議である全権委員会議 2026（PP-26）がカタールのドーハにて 2026 年 11 月 9 日から 11 月 27 日の日程で開催され、現職の ITU 電気通信標準化局長（TSB 局長、2023 年～）で元 NTT の尾上誠蔵氏が日本から立候補しており、再選しました。

尾上氏は、来年 1 月以降も電気通信標準化局長として 2 期目を務め、他の標準化機関との連携強化、産業界の関与の拡大、そして標準化の格差（スタンダード・ギャップ）の解消を担うことにより、2030 年代の経済・社会基盤として見込まれる次世代通信ネットワークの標準化拡大及び世界への普及効果が期待されています。

1. 全権委員会議 2026（PP-26）の概要

国際電気通信連合（ITU）は、情報通信技術（ICT）分野を担う国連専門機関であり、全権委員会議（Plenipotentiary Conference）は 4 年に一度、194 の加盟国が集まり組織の方向性を決定する最重要会議です。ITU 全権委員会議 2026（ITU PP-26）は、2026 年 11 月 9 日から 27 日までの会期で、カタールのドーハにて開催中です。

2. 主な議題と役割

2027 年～2030 年の 4 年間における ITU 選挙職ならびに理事国等の選挙、同期間の戦略計画・財政計画の採択、憲章・条約の改正、および各種決議の審議を行います。AI や宇宙通信などの新興技術ガバナンス、世界に残る約 20 億人のインターネット未接続人口の解消（デジタルデバイド是正）、通信インフラの強靭化などが重点テーマです

3. ITU 選挙職および理事国選挙の結果

事務総局長、事務総局次長、無線通信局長・電気通信標準化局長・開発局長の計 5 名の選挙職に加え、無線通信規則委員会（RRB）委員（12 名）と理事国（48 か国）の選挙が実施されます。

11 月 13 日 元 NTT の尾上誠蔵氏（日本）が、ITU 電気通信標準化局長の信任投票で、今回の選挙職の選挙で最も多い 169 票を獲得して再選しました。他の選挙職としては以下が当選（再選）しています。事務総局長：Doreen BOGDAN-MARTIN 氏（米国、再選）、事務総局次長：Adel DARWISH 氏（バーレーン）、電気通信無線局長：Eric FOURNIER 氏（フランス）、電気通信開発局長：Nele LEOSK 氏（エストニア）。※3



再選を受けスピーチする尾上誠蔵氏



尾上誠蔵氏スピーチ中継の模様



会場の様子



（左から）尾上電気通信標準化局長と布施田総務審議官

4. 今後の展開

NTT は、尾上 TSB 局長の再選を経て、今後も将来の情報通信基盤に関する国際的な対話と協力をさらに促進するとともに、ITU-T をはじめとする国際標準化活動を通じて情報通信技術の国際的

な普及・市場拡大に貢献していきます。

【用語解説】

※1　ITU：ITU（International Telecommunication Union）は国連専門機関のひとつであり、国連加盟国・地域により構成される国際標準化機関。ITU-T は ITU において情報通信の国際標準化を担当する組織

※2　全権委員会議は ITU の最重要会議で、4 年に 1 度開催される。全権委員会議 2026（PP-26）はカタール（ドーハ）にて開催されている https://pp.itu.int/2026/en/

※3　全権委員会議 2026（PP-26）における選挙職の選挙結果　https://pp.itu.int/2026/en/elections/elections-results/

■本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
NTT 株式会社
研究開発マーケティング本部
研究企画部門
問い合わせフォームへ